

2022年11月11日

3社の「SDGs宣言」策定を支援

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）では、取引先3社の「SDGs宣言」策定を支援いたしましたので、お知らせします。

当行では、2021年10月より、地元企業の皆さまのSDGs経営を応援する伴走型サービスとして「むさしのSDGsコンサルティング」の取扱いを行っており、本件はこれに基づく「SDGs宣言」策定となります。

当行は今後も持続可能な地域経済および社会の実現に向け、お客さまのSDGsの取組み支援などに注力してまいります。

《「SDGs宣言」策定企業》

- (1) 株式会社 翔和
- (2) 株式会社 サンヴィレッジ
- (3) 株式会社 秀建

以上



報道機関からのお問い合わせ先
ソリューション営業部 コンサルティング営業室 坂本 芳文
TEL (048) 641 - 6111 (代)

《SDGs 宣言策定企業の概要》（各社の宣言内容の詳細は別紙を参照ください。）

企 業 名	株式会社 翔和	株式会社 サンヴィレッジ
代 表 者	代表取締役 田中 清文	代表取締役 三村 挑嗣
所 在 地	埼玉県越谷市川柳町 2-544	栃木県足利市寺岡町 351
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・プレス加工、機械加工、製缶、板金業 （パケットコンベア、フライトコンベア及び関連部品等） ・舞台、スタジオ用照明器具製造業 ・コンクリート二次製品用型枠及び部品製造業 	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光設置工事、販売、保守、管理業 ・太陽光発電事業 ・蓄電池、住宅用太陽光システム工事業 ・土木建築、電気工事業 ・小売電気事業
設 立	2000年5月18日	2014年2月14日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・住み続けられる環境と地域社会に優しい会社を目指す ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・「生産性向上」と「ワークライフバランス」の両輪経営を体現する ・持続可能なものづくりの生産体制を推進する ・同業者や協力会社とのパートナーシップ構築を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギー事業の促進 ・環境にやさしいものづくり ・「ダイバーシティ経営」の実践と推進 ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

企 業 名	株式会社 秀建
代 表 者	代表取締役 北井 秀樹
所 在 地	埼玉県久喜市菖蒲町下栢間 93-43
業 務 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・建物耐火被覆工事 ・ALCパネル施工工事
設 立	1990年6月5日
宣 言 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・安心・安全なまちづくりに貢献していく ・温室効果ガス低減に向けた環境経営を目指す ・従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す ・自社および事業の環境負荷を軽減させる ・秀建グループや同業者との連携を高める



2022年10月10日

株式会社サンヴィレッジ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
SDGsの実現に向けた取り組みを行っていくことを宣言します。

代表取締役 綱川 典男

SDGsの達成に向けた取り組み

再生可能エネルギー事業の促進

- ・カーボンニュートラルの実現に向け、電力会社に販売している自社保有発電所の太陽光発電量を増加させ、CO2を削減していきます。
- ・災害時に太陽光発電所から被災地に電力を供給できる仕組みについて、パートナー企業と検討を進めています。
- ・自然災害に強い太陽光発電所の開発、建設を続けて行きます。



【指標】

2021年度 自社保有発電所の発電量 31MW (※) ⇒ 2030年度 300MW
(※) 1MW (メガワット) は1,000kW (キロワット) のことです。

環境にやさしいものづくり

- ・太陽光発電所の建設現場で使用する砕石は、リサイクル品の利用を進めています。
- ・将来の解体や撤去を想定した場所を選び、発電所の建設をしています。
- ・発電事業終了後の機材等のリサイクルを進めています。



【指標】

2021年度 仕入れ砕石のリサイクル比率 50% ⇒ 2030年度 80%

「ダイバーシティ経営」の実践と推進

- ・出産、育児、介護をしながら働きやすい会社を目指します。
特に、男性の育児休業等の取得推進をサポートしていきます。
- ・従業員のヘルスケア、メンタルヘルスケアのサポートを提供していきます。
- ・健康を優先した職場環境づくりを行っていきます。



【指標】

2021年度 有給休暇の取得日数 5日以上 ⇒ 2030年度 平均12日

従業員が長く勤めたいと思う会社を目指す

- ・コミュニケーションを大切に、皆が働きやすい職場環境作りを進めていきます。
- ・従業員の働きを評価する人事制度を整備していきます。
- ・スキルアップの支援制度を導入していきます。

